資料ー13

河川事業に関する報告事項

令和元年　12月18日

国土交通省　東北地方整備局

目　次

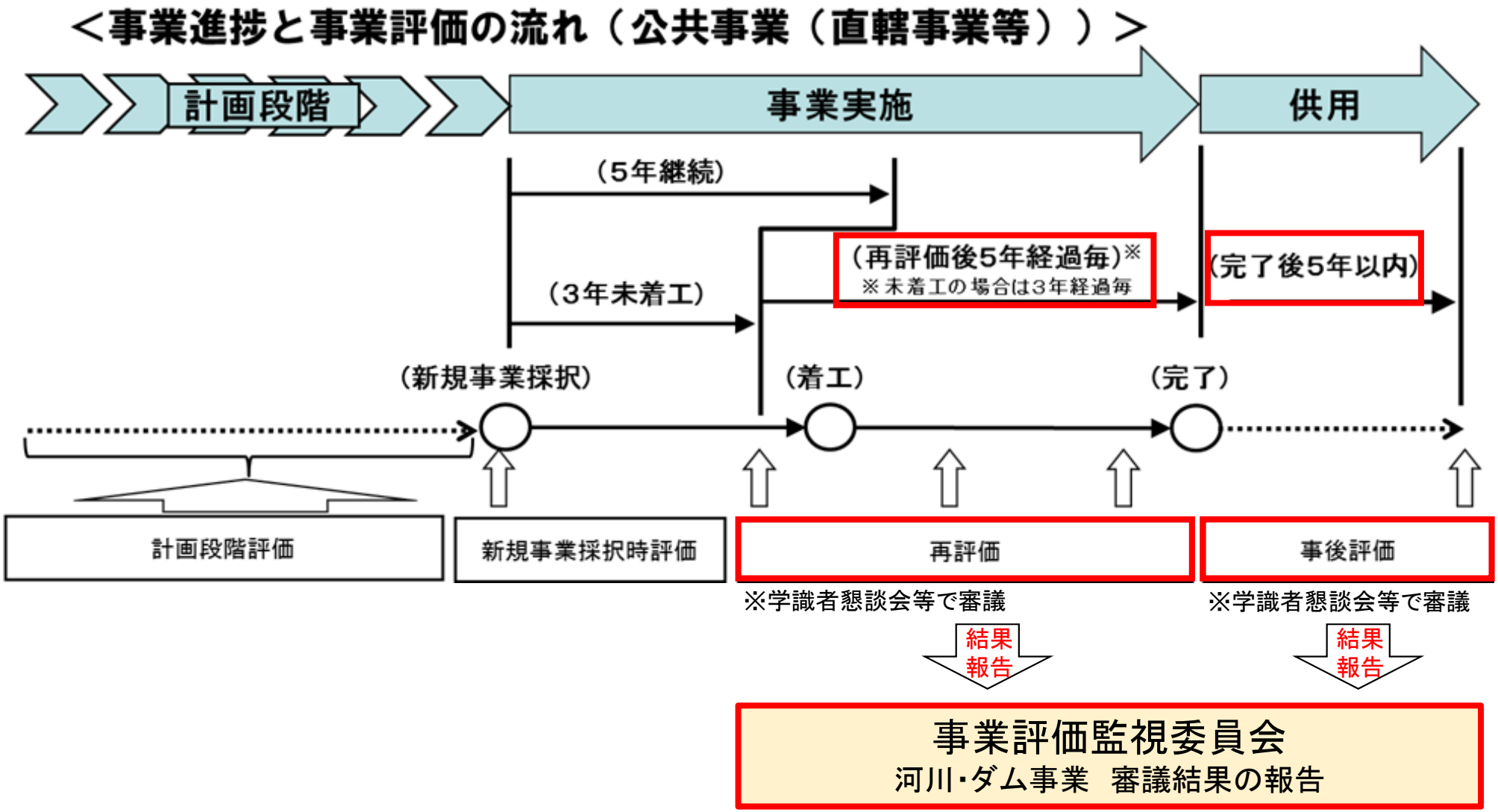
１）河川・ダム事業　再評価・事後評価の流れ　・・・Ｐ２

２）河川・ダム　報告事業の位置図　・・・Ｐ３

３）河川・ダム報告事業の概要　・・・Ｐ４

４）社会情勢変化の概要　・・・Ｐ５

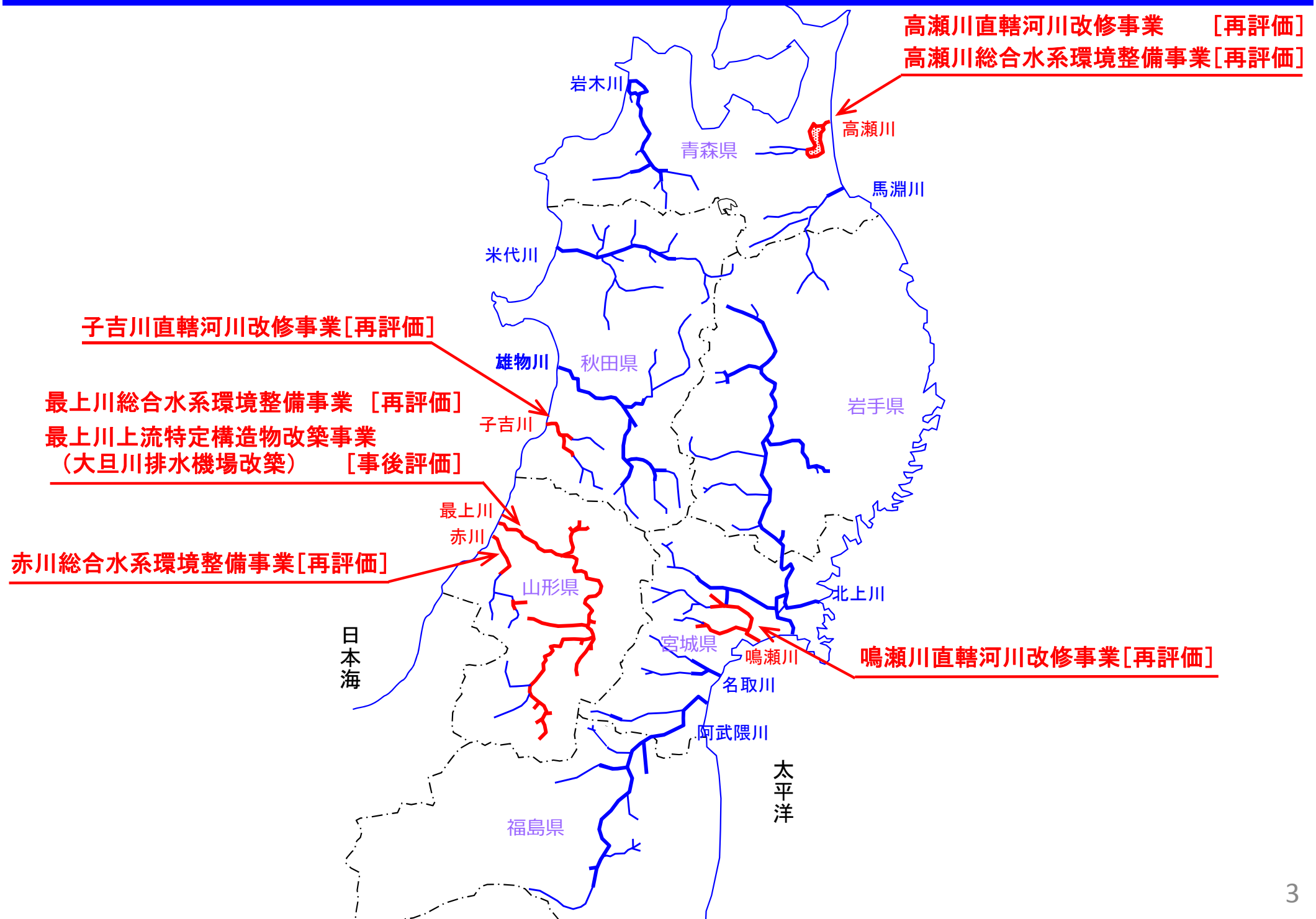
１）河川・ダム事業における事業評価の流れ



○河川・ダム事業については、実施要領に基づき、別途学識者懇談会等が設置されている場合、事業評価監視委員会に代えて、学識者懇談会等で審議を実施。（国土交通省所管公共事業の再評価実施要領　第６－６）

○実施要領細目に基づき、審議結果を事業評価監視委員会へ報告。（河川及びダム事業の再評価実施要領細目　第６）

2） 河川･ダム　報告事業の位置図



3）河川・ダム　報告事業の概要

○報告案件の内訳

河川改修事業

- 社会情勢の変化に伴う再評価（河川整備計画の変更）　：１件（鳴瀬川）
- 再評価実施から一定期間経過後の再評価　：２件（高瀬川、子吉川）

総合水系環境整備事業

- 社会情勢の変化に伴う再評価（新規箇所の追加）　：２件（最上川、赤川）
- 再評価実施から一定期間経過後の再評価　：１件（高瀬川）

特定構造物改築事業

- 事業完了後一定期間経過後の事後評価　：１件（最上川：大旦川排水機場）

○学識者懇談会等の実施状況

- 各事業毎に学識者懇談会等を設置しており、再評価・事後評価実施要領に基づき審議を実施済み。
- 学識者懇談会等の名簿は参考資料に掲載

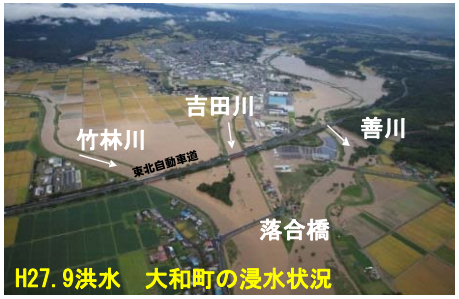
4）河川整備計画変更の概要：鳴瀬川直轄河川改修事業

１：河川整備計画変更の背景

- 鳴瀬川では、関東・東北豪雨（平成27年9月洪水）において、吉田川上流部を中心に甚大な浸水被害が発生。
- 当該洪水を契機に、再度災害防止対策として、吉田川上流部の築堤、河道掘削、遊水地の整備を河川整備計画に位置付けた。



H27.9洪水　大崎市多田川付近の浸水状況



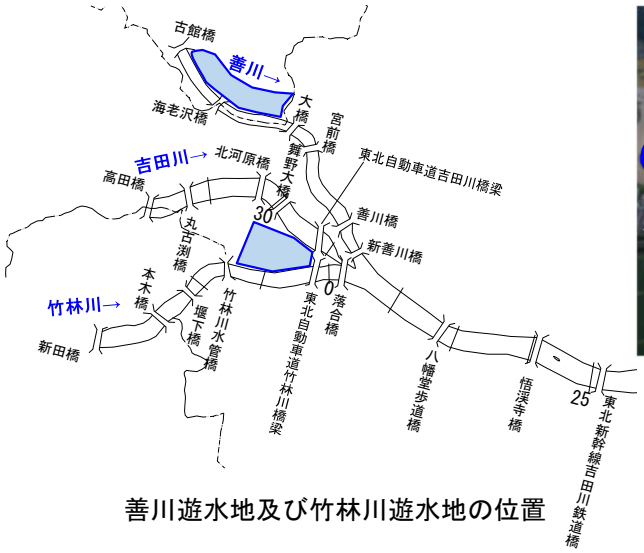
H27.9洪水　大和町の浸水状況



２：変更内容

- 善川遊水地及び竹林川遊水地の詳細な位置及び諸元を記載。
- 善川の直轄管理区間の延伸による記載の変更。

善川遊水地及び竹林川遊水地の位置及び諸元



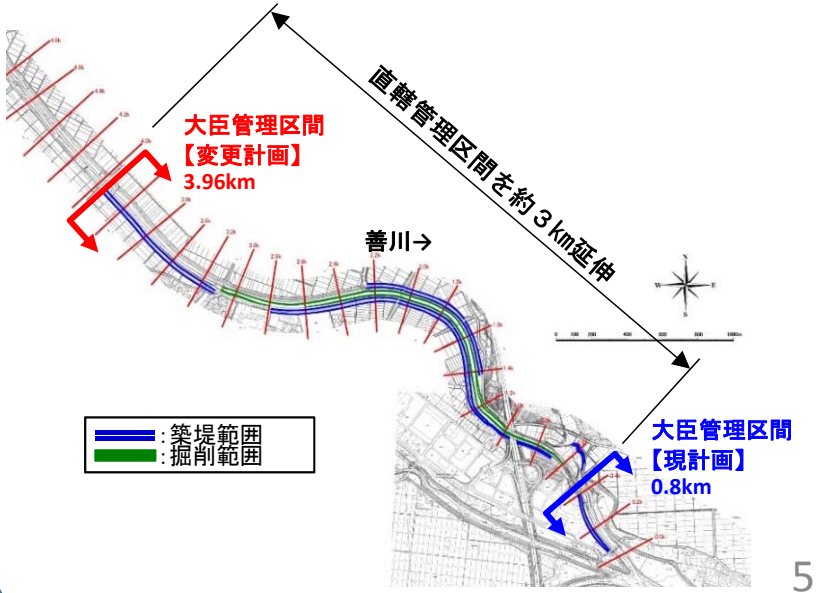
善川遊水地及び竹林川遊水地の位置



遊水地の諸元

遊水地名	湛水面積	湛水容量
竹林川遊水地	約 57ha	約 62 万 m^3
善川遊水地	約 57ha	約 195 万 m^3

善川直轄管理区間の延伸

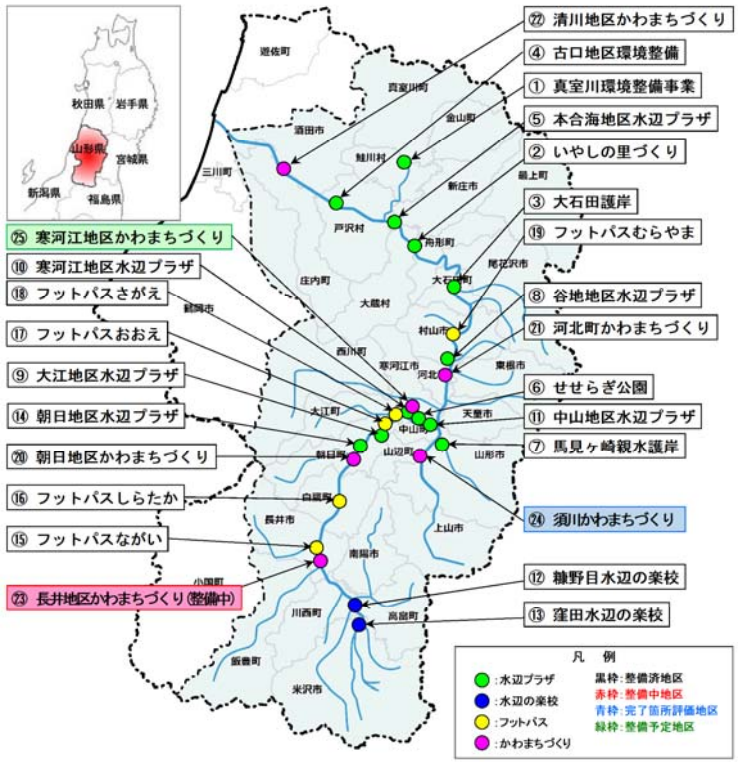


4)事業内容変更の概要:最上川総合水系環境整備事業

1．事業内容変更の背景

- これまで最上川総合水系環境整備事業では、長井地区（H21～R9）、須川地区（H24～R1）の他、24地区を整備。
- 寒河江市においては、水辺空間の整備や寒河江地区水辺プラザ、グリバーさがえ等の施設の活用及び連携を図り、「まち」と「かわ」とのネットワークの構築を図るため、「かわまちづくり支援制度」に、平成31年3月に登録された。

平面図



須川かわまちづくり



パークゴルフ場

長井地区かわまちづくり



白つつじマラソン（ウォーキング）

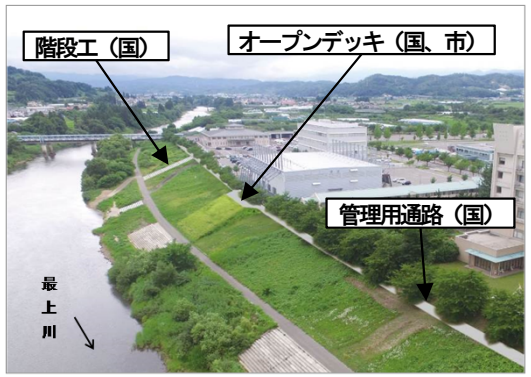
2．変更内容

- 新たに登録された**寒河江地区かわまちづくりを加えた25地区について事業評価を実施**。
- 寒河江地区においては、国が管理用通路や高水敷整正を整備、市がオープンデッキや案内看板の設置等を実施。

寒河江地区かわまちづくり



オープンデッキ、階段等の整備イメージ



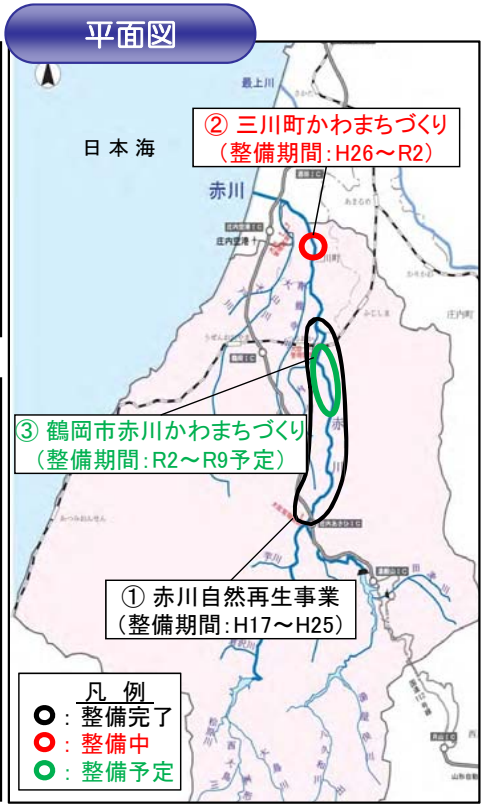
オープンデッキ、管理用通路等の整備イメージ

4）事業内容変更の概要：赤川総合水系環境整備事業

1．事業内容変更の背景

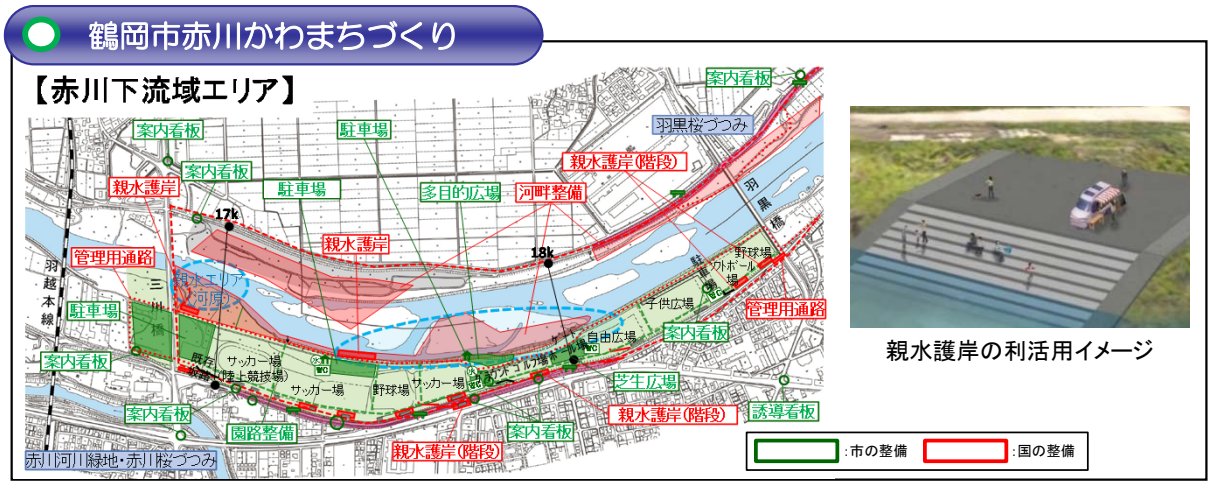
- これまで、赤川総合水系環境整備事業では、自然再生事業（H17～H28）、三川町かわまちづくり（H26～R5）の２地区を整備。
- 鶴岡市においては、歴史的観光拠点とのネットワーク構築によりまちとかわの回遊機能を向上し、新たな賑わいの創出を図るため、「かわまちづくり支援制度」に、平成31年3月に登録された。





2．変更内容

- 新たに登録された**鶴岡市赤川かわまちづくりを加えた３地区について事業評価を実施**。
- 鶴岡市赤川かわまちづくりにおいては、国が河畔整備や管理用通路等を整備、市が広場、駐車場、案内看板等を整備。



親水護岸の利活用イメージ